

平成21年中の柏署における犯罪発生状況

『日本一安全で安心な街 柏を目指して』

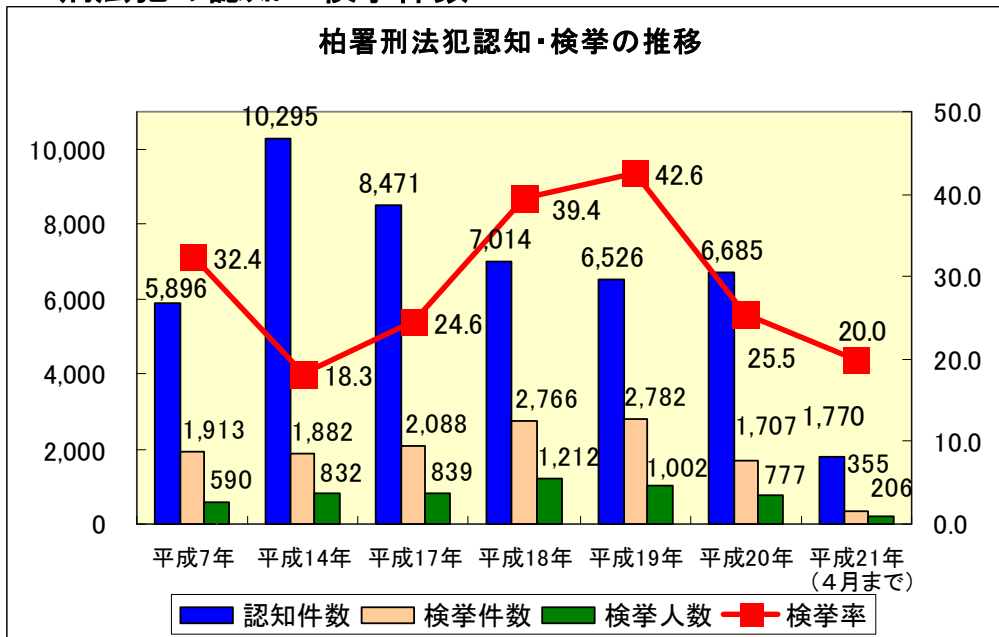
犯罪は他人ごとではありません！ 被害に遭わないためにも、一人ひとりがきちんとした防犯対策を行うことが必要です。

柏警察署では市内の治安指数として、年間の事件認知件数6,300件以内を目標とし、今後も積極的に防犯活動を推進していきます。

4月末時点 1,770件 前年比 362件減
前年比 17.0%減

※数値は暫定値であり、修正される場合があります

1. 刑法犯の認知・検挙件数



柏署管内の刑法犯の認知状況をみると、県全体の動向と同様、平成14年をピークに減少傾向にあります。平成21年4月の認知件数は1,770件で平成20年同期と比較すると、362件の減少（-17.0%）となっており、県全体では2,265件減少（-7.3%）しています。

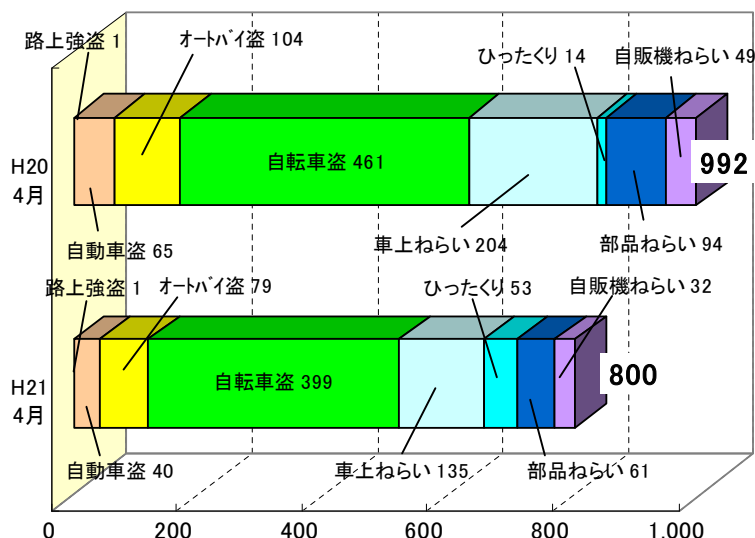
また、検挙率については平成14年の18.3%から年々増加傾向にありましたが、平成20年は低下し又、本年4月現在は20.0%となっています。

2. 街頭犯罪の認知件数

柏署では、特に発生件数の多い「路上強盗」、「自動車盗」、「オートバイ盗」、「自転車盗」、「車上ねらい」、「ひったくり」、「部品ねらい」、「自動販売機ねらい」を街頭犯罪8罪種として捉え犯罪発生を抑止に取り組んでいます。

平成21年4月の街頭犯罪8罪種の認知件数は800件で平成20年同期と比較すると192件の減少（-19.4%）となっています。

罪種別に見ると自転車盗、車上ねらいの2罪種が大きく減少していますが、ひったくりについては大幅に増加しています。

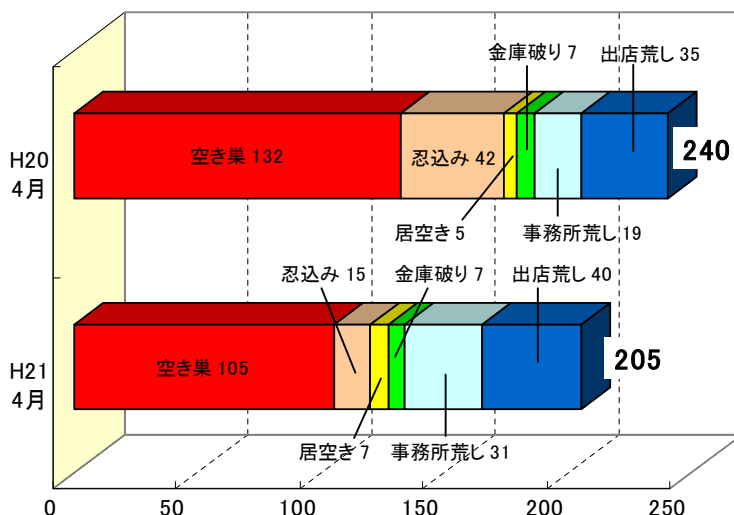


3. 侵入犯罪の認知件数

柏署では、特に発生件数の多い「空き巣」、「忍込み」、「居空き」、「金庫破り」、「事務所荒し」、「出店荒し」を侵入犯罪6手口として捉え犯罪発生を抑止に取り組んでいます。

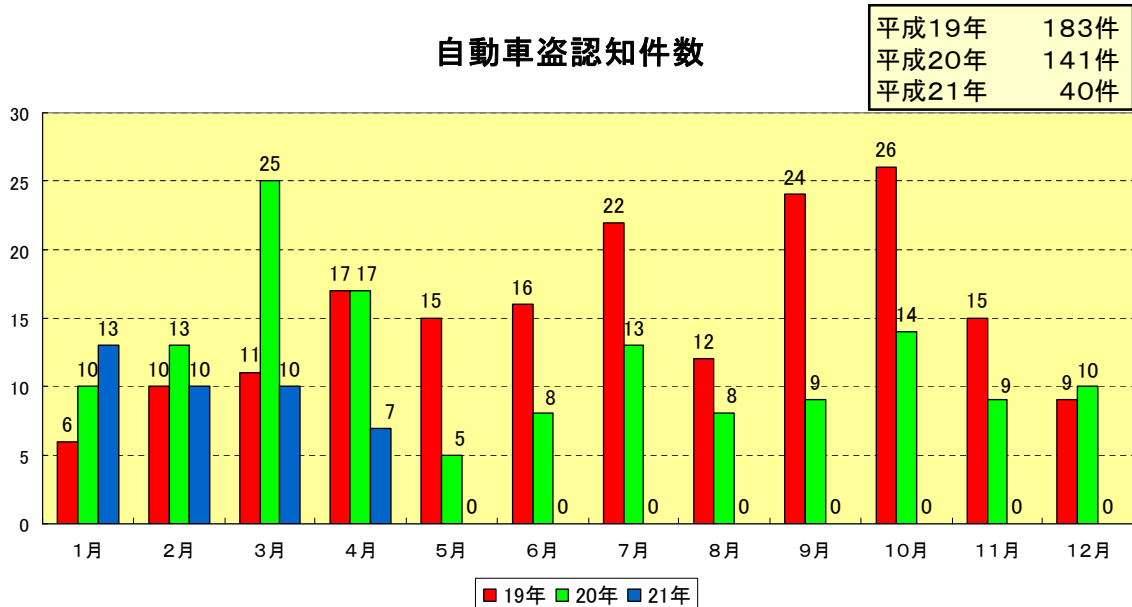
平成21年4月の侵入犯罪6手口の認知件数は205件で平成20年同期と比較すると35件の減少（14.6%）となっていますが、事務所荒しの発生は若干増加しています。

なお、空き巣、忍込み、居空きなど住宅侵入犯罪については、52件の減少（-29.1%）となっています。



4. 主な犯罪の状況 ～発生件数の多い犯罪の詳細を紹介します～

(1) 自動車盗



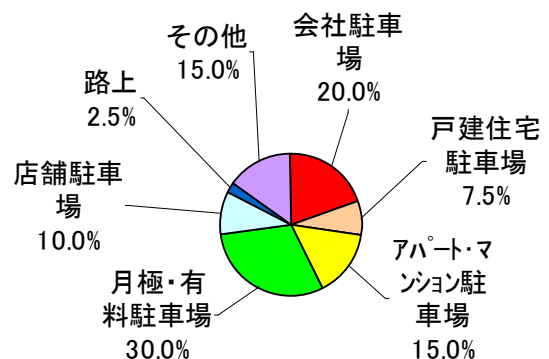
4月の発生件数は、7件で前年同月と比較すると10件減少（-58.8%）となっています。

なお、被害件数7件のうち2件は鍵をつけたままの状態に被害にあつたものです。被害場所は、月極駐車場及びアパート・マンション駐車場が約5割を占め、以下、会社駐車場内、店舗駐車場で被害が多くなっています。

平成21年1月～4月分被害車種

車種名	台数
トヨタ ハイエース	3
トヨタ スープラ	3
いすゞ エルフ	2
メルセデスベンツ	2

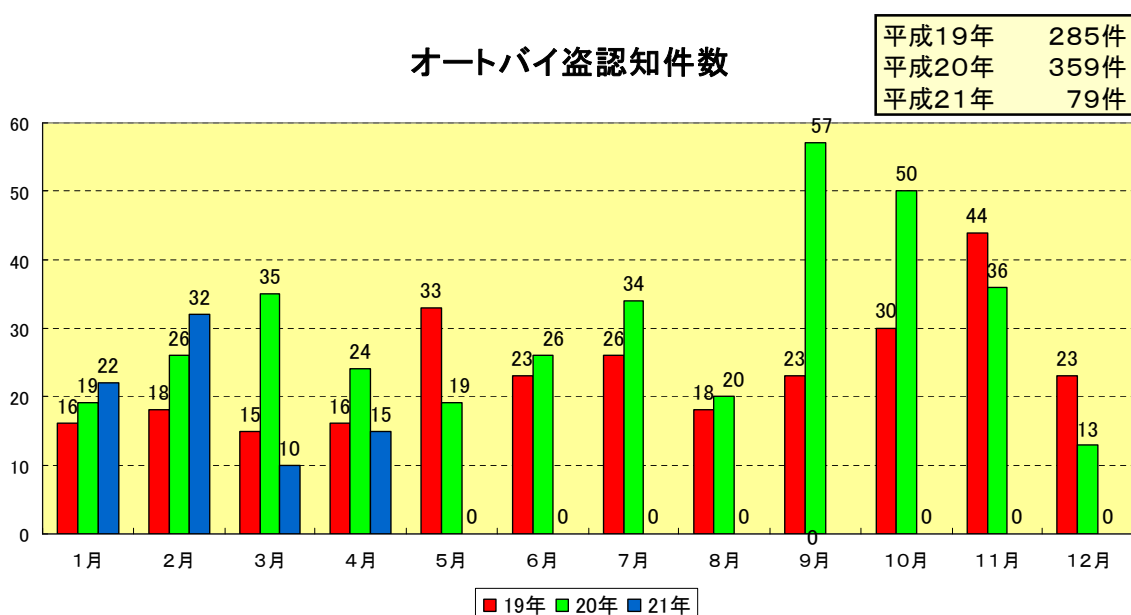
自動車盗の発生場所



【確認！防犯対策】

- コンビニなどちょっとした駐車でも必ずカギをかけましょう！
- ワンボックスカーや貨物自動車などの被害が多発しています。これらの車を所有している方は特に注意しましょう！
- 「ドレスアップより、まず盗難防止器具の取付を！」盗難防止警報機やハンドルロックなど盗難防止器具を取り付けましょう！

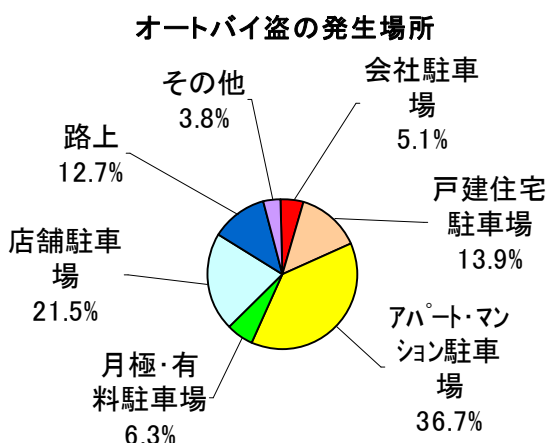
(2) オートバイ盗



4月の発生件数は15件で前年同月と比較すると9件減少（-37.5%）となっています。

なお、被害件数15件のうち5件は鍵をつけたままの状態に被害にあつたものです。

被害場所は、アパート・マンション駐車場及び店舗駐車が約6割を占め、以下、戸建住宅駐車場、路上での被害が多くなっています。



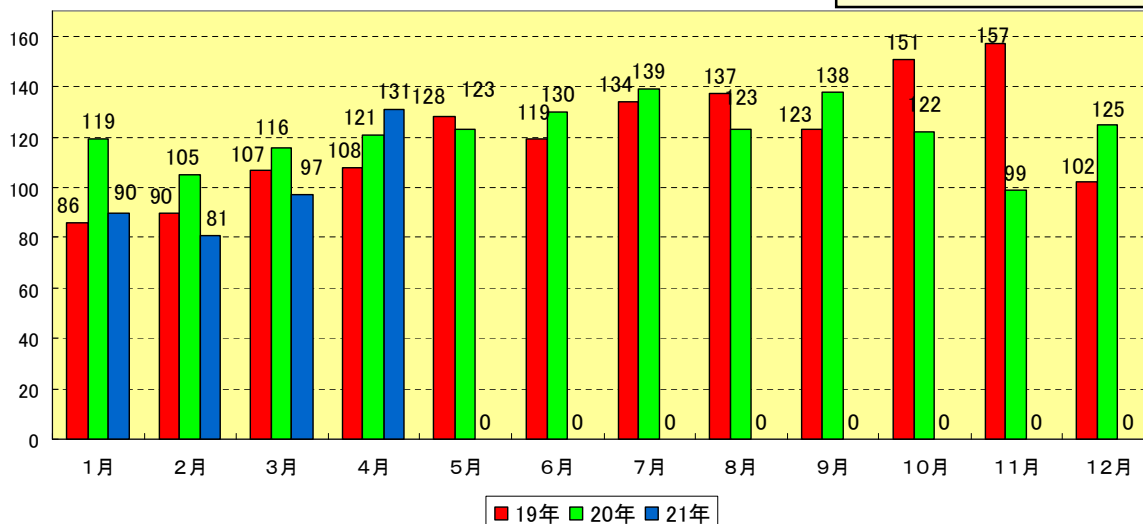
【確認！防犯対策】

- 駐車するときは必ずカギをかけ、ダブルロック、ハンドルロックをしましょう！
- 自宅の車庫でも被害例あり。通り沿いなどには置かず、センサーライトなど防犯機器を取り付けましょう！
- 路上駐車は盗難被害が多いほか、交通の妨げにもなりますのでやめましょう！

(3) 自転車盗

自転車盗認知件数

平成19年	1,442件
平成20年	1,460件
平成21年	399件



自転車盗は刑法犯で最も多い犯罪です。

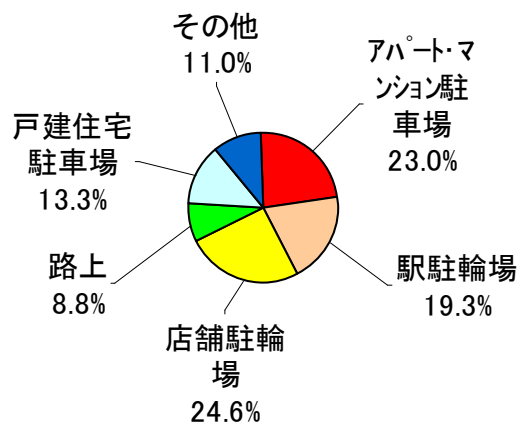
千葉県全体を見ても自転車盗は増加傾向にあります！

4月の発生件数は131件で前年同月と比較すると10件増加（8.3%）となっています。

なお、被害件数131件のうち約5割の64件は施錠なしの状態に被害にあつたものです。

被害場所は、店舗駐輪場、駅駐輪場、アパート・マンション駐輪場が多いほか、戸建住宅駐車場や路上の被害も多数発生しています。

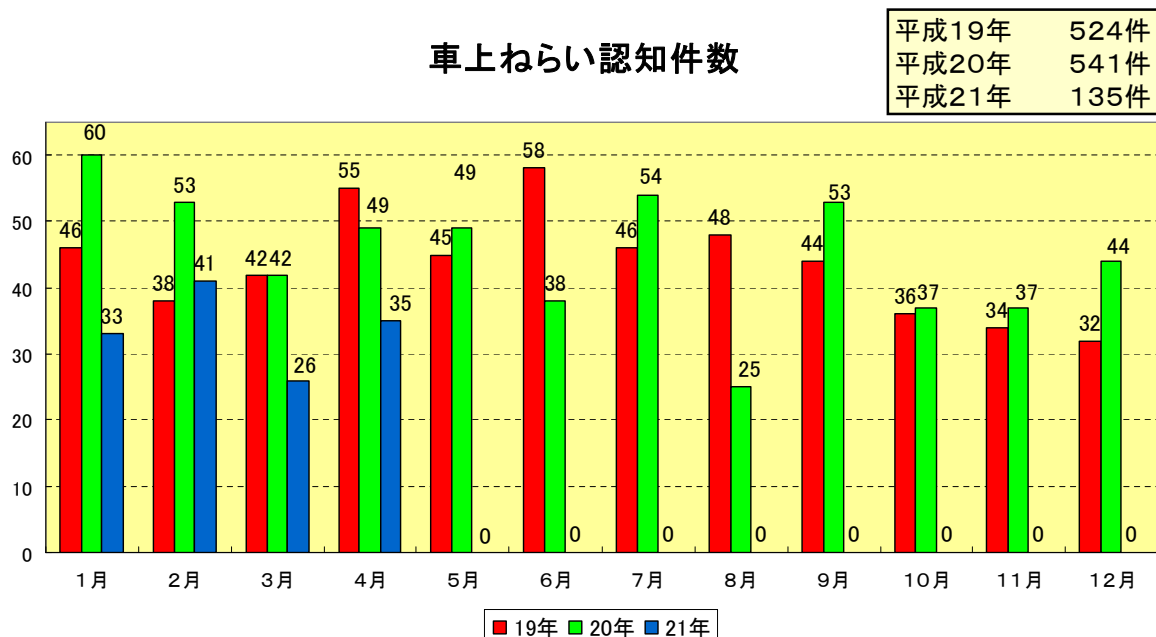
自転車盗の発生場所



【確認！防犯対策】

- 頑丈なチェーン錠を使用し、ダブルロックをしましょう！
自宅やアパート・マンションの駐輪場でも確実に施錠しましょう！
- 店舗駐輪場で無施錠による被害が多くなっています。「少しの間だから…」と油断せず必ず施錠しましょう！
- 路上での被害が多くなっています。路上は交通の支障にもなります。駐輪場など指定の場所に駐輪しましょう！
- 必ず防犯登録しましょう！

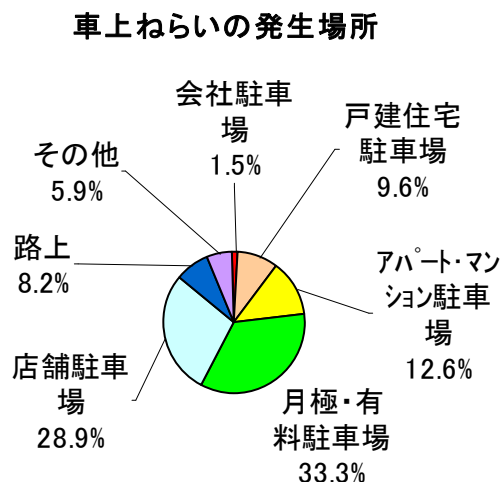
(4) 車上ねらい ～自動車の車内等から財布やバッグなどの積荷を
窃取する犯罪～



4月の発生件数は35件で前年同月と比較すると14件の減少(−28.6%)となっています。

なお、被害件数35件のうち約3割が無施錠の状態に被害にあったものです。

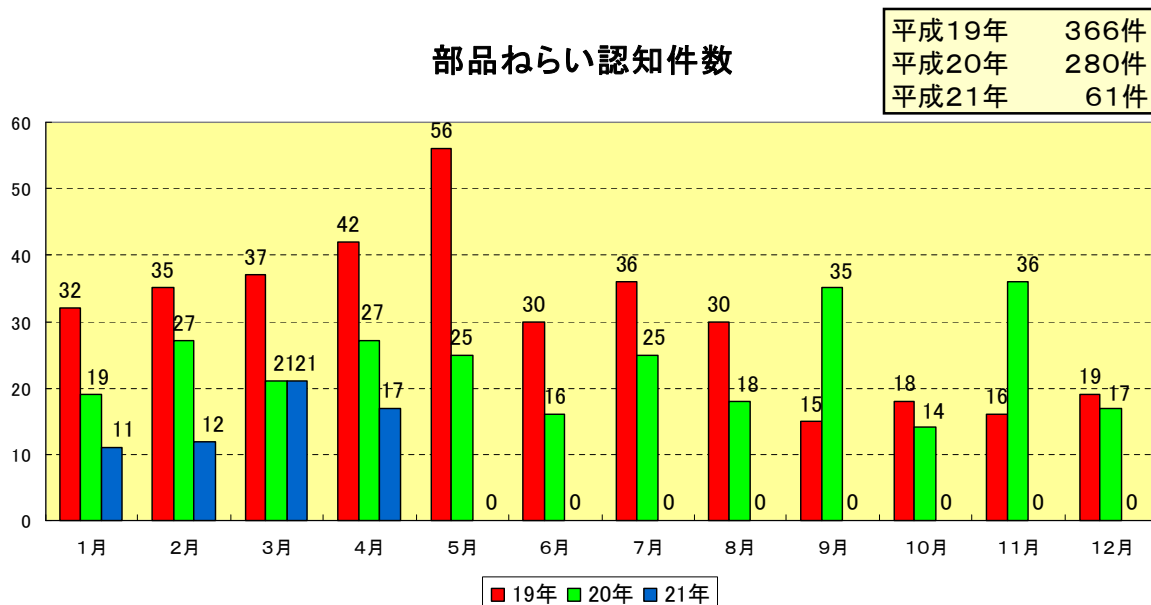
被害場所は、店舗駐車場(特にショッピングセンター駐車場)、月極・有料駐車場が約6割以上を占め以下、アパート・マンション駐車場での被害が多くなっています。



【確認！防犯対策】

- 車は「物置」ではありません。買物など少しの間でもバッグや財布などは車内に置かないようにしましょう！
- 自宅の駐車場でも油断禁物です。センサーライトなどを設置しましょう！
- 月極駐車場を選ぶときは、見通しが良く、防犯灯や防犯カメラなど防犯設備が整った駐車場を選ぶようにしましょう！
- 最近では、自転車の前かごからバッグやゲーム機などを窃取する手口が増加しています。荷物は必ず手に持ち、置きっ放しにしないようにしましょう！

(5) 部品ねらい ～自動車、オートバイに取り付けてある部品（ナンバープレート、タイヤ）・付属品（カーナビ等）を窃取するもの～

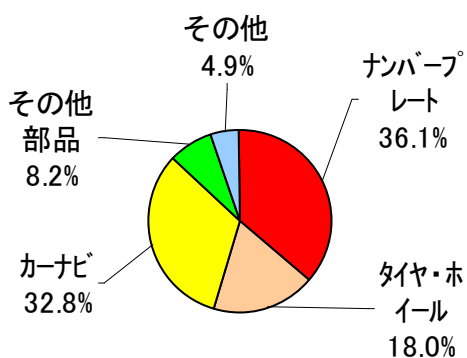


4月の発生件数は17件で前年同月と比較すると10件の減少（-37.0%）となっています。

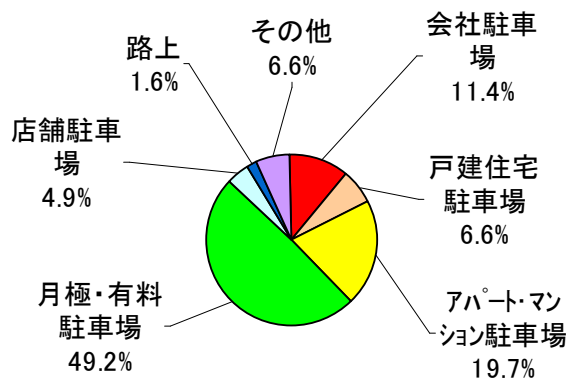
被害品は、ナンバープレート、カーナビが最も多くなっています。

被害場所は長時間駐車する機会が多い、月極・有料駐車場が最も多く、以下、アパート・マンション駐車場での被害が多くなっています。

部品ねらいの被害内容



部品ねらいの被害場所



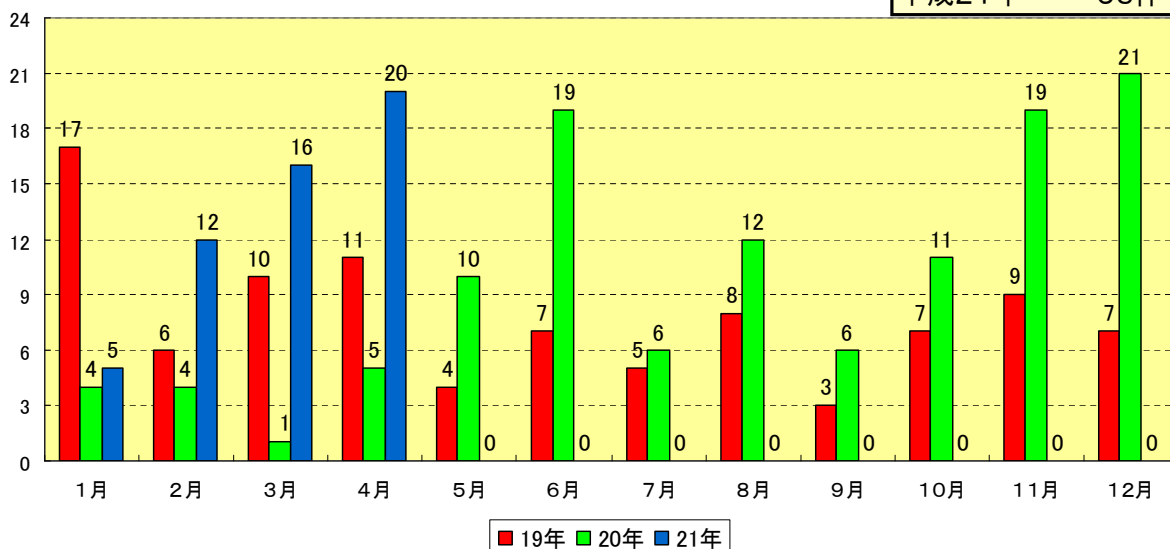
【確認！防犯対策】

- 長時間駐車場に駐車している方は特に用心が必要です。自動車警報器など防犯機器を活用しましょう！
- 月極駐車場を選ぶときは、見通しが良く、防犯灯や防犯カメラなど防犯設備が整った駐車場を選ぶようにしましょう！

(6) ひったくり

ひったくり認知件数

平成19年	94件
平成20年	118件
平成21年	53件

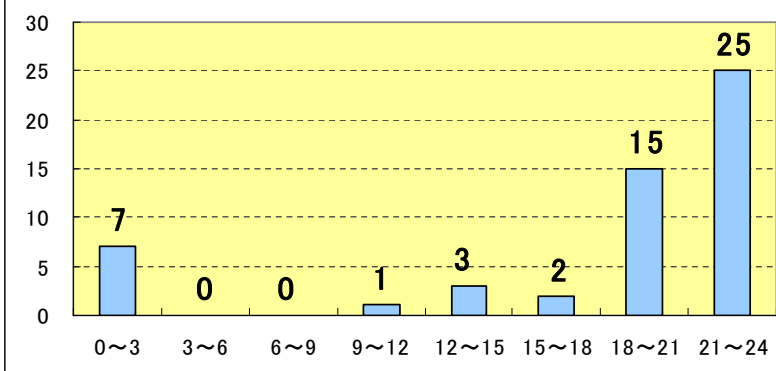


4月の発生件数は20件で前年同月と比較すると15件増加(300.0%)しています。

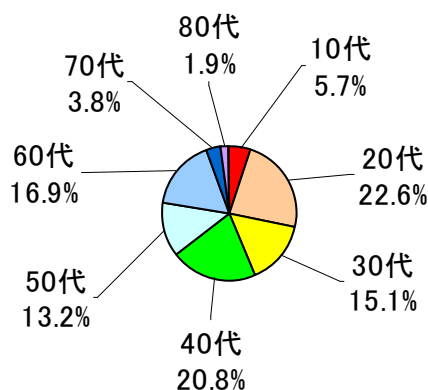
犯行時間帯は、21時から24時までの時間帯が最も多く、その手口はスクーターや自転車などで背後から近づき、手持ちのバッグや自転車の前かごのバッグを奪取、逃走するものです。

被害者のほとんどが女性で、年齢別に見ると20～40代が約6割を占めており、夜間・帰宅途中の女性がねらわれています。

ひったくり被害時間別分類



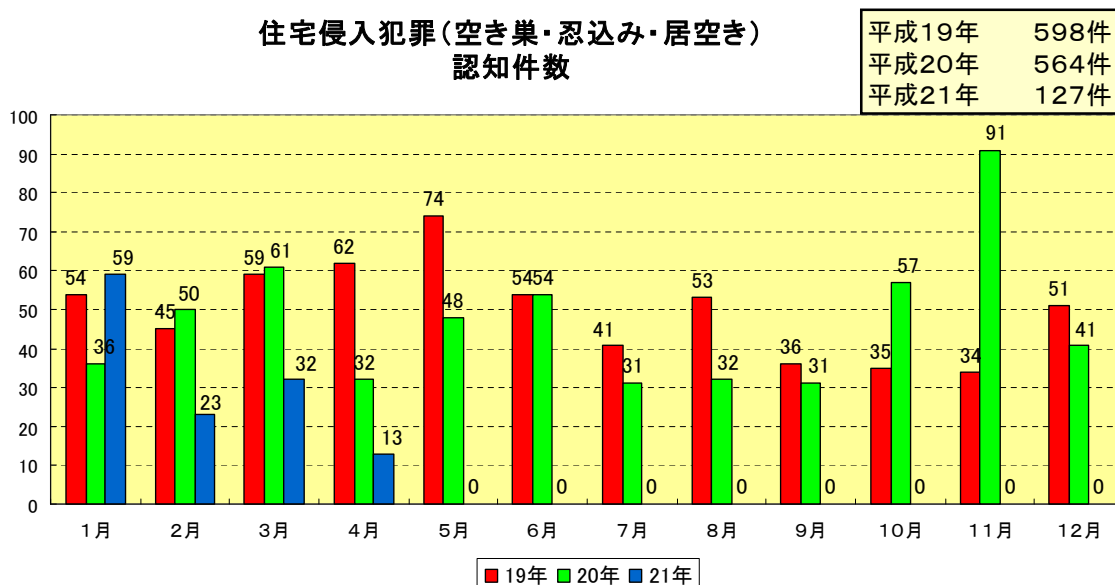
ひったくり被害年齢別分類



【確認！防犯対策】

- 自転車の前かごには、必ず「ひったくり防止ネット」を取り付けましょう！（ひったくり防止ネットがない場合は、雑誌などを置くことによっても被害を防ぐことができます。）
- メールをしながら、音楽を聴きながらは、後方に対する注意が散漫になりますので注意しましょう！
- 徒歩の場合、バッグは必ず車道と反対側に持ちましょう！（たすきがけできるバッグはたすきがけしましょう）

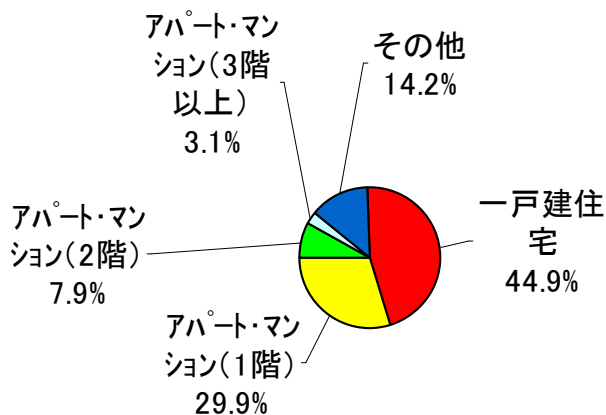
(7) 住宅侵入犯罪（空き巣・忍込み・居空き）



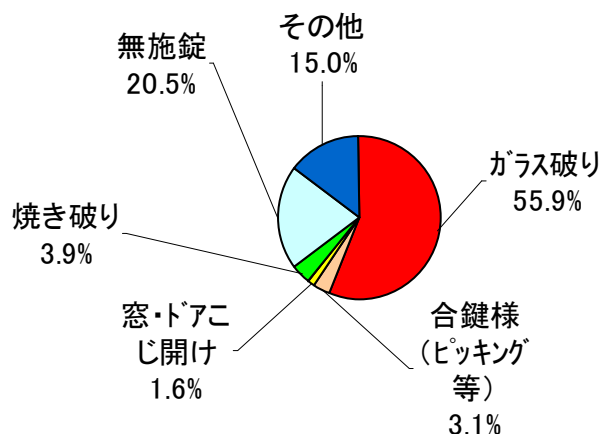
4月の発生件数は、13件で前年同月と比較すると19件減少（-59.4%）しています。

被害は、一戸建て及びアパート・マンションの1階がほとんどで、手口はドライバーなどでガラスを割って侵入するガラス破りが約6割を占めています。

住宅侵入犯罪の被害建物別分類



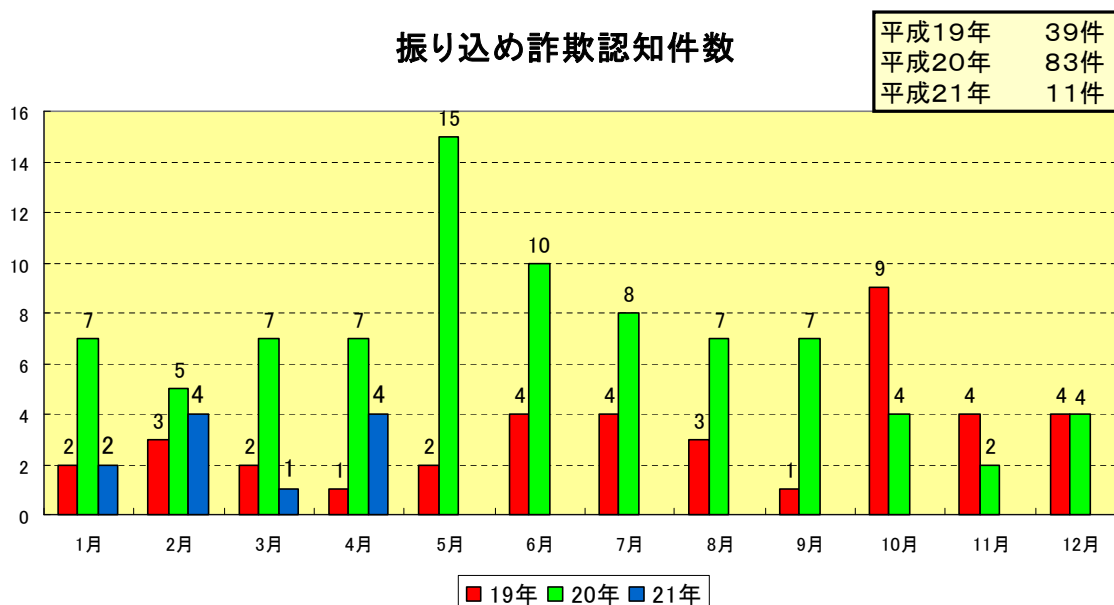
住宅侵入犯罪の手口分類



【確認！防犯対策】

- 窓には補助錠を使い、ツーロックで施錠しましょう！
- ちょっとした外出でも必ずカギをかけましょう！
- 就寝する前には必ず、台所・浴室・2階の窓も忘れず施錠しましょう！
- 格子をはずして侵入された被害も発生しています。（格子のある窓も施錠しましょう）
- 死角になる窓には、補助錠・防犯ブザーやセンサーライトを取り付けましょう！

(8) 振り込め詐欺



4月の発生件数は、4件で前年同月と比較すると3件減少（-42.9%）しています。被害総額は約21,500万円（平成21年1月～4月）で、被害者の大半が女性であり60～80歳代の高齢者に被害が集中しています。

～警察署からのお願い～

警察署では、振り込め詐欺の犯人を検挙するため、犯人が使用している電話番号や口座番号などの情報の入手に努めています。

振り込め詐欺と思われる不審な電話がかかってきた場合は、直ぐに柏警察署（04-7148-0110）まで連絡をお願いします。

～主な電話手口～

●職場での不正補てん・ミス穴埋め名目、治療費や慰謝料に対する借金の返済名目

～今後予想される手口～

●定額給付金の交付をよそおった「振り込め詐欺」や「個人情報の詐取」について、電話がかかってくるのが予想されます。

不審な電話がかかってきたら、すぐに警察に通報してください！

～最近の特徴～

※ 事前に「携帯電話を変更した」又は「落とした」という名目で番号が変わったと嘘の電話をかけてくる。

※ 息子（孫）を名乗り、「連帯保証人になりお金が必要になった」等と騙す手口のオレオレ詐欺事件が増えています。

※ 最近は、バイク便などを装って自宅に犯人が現金又はキャッシュカードを直接取りに来るなど振り込みによらない手口が増えています！

【確認！防犯対策】

- 夫・息子・孫等の本人に必ず連絡し、確認しましょう。
- 絶対にお金を振り込まないようにしましょう。（至急、お金を振り込むことはありません。）
- むやみに相手に連絡したり、個人情報を伝えないようにしましょう！
- 怪しいと思ったら、一人で悩まずに、家族・警察に相談しましょう！